



9月  
29日

## 国東のシンボルが700年ぶりに修復

9月29日（土）、国東町の岩戸寺で、国指定重要文化財「岩戸寺宝塔（国東塔）」の保存修理事業の竣工記念式典が行われました。保存修理は平成23年の1月から9月に、総事業費2千58万円をかけて行われました。この日は、地元関係者や県、市、関係機関の代表者や来賓など約100人が出席し、創建以来およそ700年ぶりに修復された宝塔の完成を祝いました。

## 盛大に「安岐町川舟祭」写真・絵画展

10月13日（土）、安岐町川舟祭を題材にしたフォト・絵画コンテストの表彰式が、安岐地区公民館で開催されました。川舟祭保存会（木付親次会長）が主催で開催したコンテストには、写真の部に7点、絵画の部に38点の応募がありました。写真の部は、大分市の田中みのるさんの作品で、港を出発する舟を写した「川舟神幸」が、絵画の部では、安岐小学校5年生の飯田温希さんが「かがり火舟」を題材に描いた作品が、それぞれ最優秀賞に選ばれました。

10月  
13日



川舟コンテスト



10月  
16日

## 園児といっしょにいい汗・いい笑顔（くにみ苑）

10月16日（火）、国見町の養護老人ホームくにみ苑で、竹田津保育所から28人の園児が参加して、入苑者の運動会が行われました。万国旗が飾られた苑内の集会所で、入苑者と園児が紅白に分かれハチマキをして、選手宣誓で大会をスタート。パン食い競争や玉入れ、ボール送り、応援合戦など様々な種目が行われ、入苑者の皆さんは、元気いっぱいの園児との交流を楽しみました。



## 里帰りしたウミガメで環境学習

国東町小原のソニーセミコンダクタ(株)大分テクノロジーセンターでは、昨年9月に工場そばの黒津崎海岸でふ化し、1年余りで体長約20cmに成長したアカウミガメが1週間の里帰りをしました。

おおいた環境保全フォーラム（内田桂代表理事）が生態調査のために、ふ化時に保護して、飼育・観察を続けているウミガメを、海岸の清掃活動を行うなど、ウミガメの保護活動にも取り組んでいる同社で展示したものです。

10月25日（木）、安岐中央小学校の4年生が環境学習で同社を訪れ、工場見学やウミガメ観察などを行いました。市内でウミガメの保護活動に取り組むくにさき海亀プロジェクトの糸永和人代表が「ウミガメの絶滅の恐れ」などを説明。その後、水槽の中のアカウミガメを見た児童たちからは「頭や手足は甲羅の中に引っ込まないの？」や「オスとメスはどっち？」など次々と質問の手があがりました。

10月  
25日



児童たちの質問に答える内田代表（写真左）